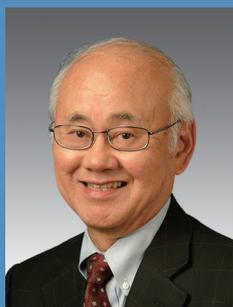


# インプラント時代における“ピュア・ペリオ” UCLA 4日間集中実習コース

## Instructor



Henry H. Takei, DDS, MS, FACP  
Distinguished Clinical Professor  
of Periodontics



Flavia Q. Pirih, DDS, Ph.D.  
Professor  
Tarrson Family Endowed Chair  
in Periodontics



Beatriz Bezerra, DDS, Ph.D.  
Health Sciences Assistant  
Clinical Professor  
Director of the Pre-doctoral  
Program in the Section  
of Periodontics



Yusuke Hamada, DDS, MSD,  
Health Sciences Clinical Instructor  
Periodontics Program Director

### コース料金

【コース番号:14230401】 **¥ 500,000**

### 主な認定制度

- 日本歯科医師会認定研修会
- 明海大学「歯科総合医」認定研修会
- 明海大学大学院生の単位認定コース
- 日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会

### 修了証・認定証

- UCLA公認認定書の授与

コースの詳細・お申込みは  
こちらから▶



PURE PERIODONTICS  
IN THE ERA OF PREDICTABLE  
IMPLANT THERAPY

04  
DAYS COURSE

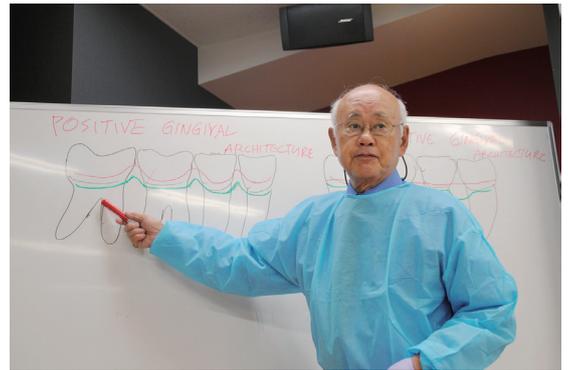
# INTRODUCTION

明海大学・朝日大学・UCLA歯学部は1992年に相互交流協定を締結し、その共同事業の一環として生涯研修事業を行っております。さらに、明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部は1999年に発足し、大学が主催する我が国唯一の生涯研修活動として発展しております。

歯科界は日々目覚ましい進歩を遂げており、また少子高齢社会の到来に伴う歯科疾病構造の変化や社会ニーズの多様化により、歯科医師は新しい情報を吸収し、国民の健康に寄与する姿勢と歯科医療技術・資質などを含めた医療全体の質の向上を図ることが必要とされています。

そのようななか、明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部では、高度な専門的知識と技術を持つ総合臨床歯科医師の育成のために、一口腔単位であらゆる臨床分野をバランスよく学ぶことができるように研修プログラムを構築しています。とりわけ、成人の大半が罹患していると言われる歯周病に関する研修は極めて重要なため、UCLA歯周病学講座と明海大学歯周病学講座の教授・講師陣による、基礎編から応用編までを網羅した実践形式の充実したプログラムを用意しております。

この「インプラント時代における“ピュアペリオ”UCLA 4日間集中コース」は、歯周病学の世界的権威であるヘンリー・タケイ教授をはじめとした、UCLA歯周病学講座の精鋭講師陣によって行われます。インプラント治療のリスクを考慮した上で、「一本の歯を守る」ための科学的な根拠とその手法を集中して学ぶことができる、極めて洗練された本コースを通して、皆様の臨床の一助となれば幸いです。



## プログラム内容

### DAY ONE

#### 講義・ワークショップ

講師／Henry H. Takei, Flavia Q. Pirih,  
Beatriz Bezerra, Yusuke Hamada

### DAY TWO

#### 講義・ハンズオン

講師／Henry H. Takei, Flavia Q. Pirih,  
Beatriz Bezerra, Yusuke Hamada

### DAY THREE

#### 講義・ハンズオン

講師／Henry H. Takei, Flavia Q. Pirih,  
Beatriz Bezerra, Yusuke Hamada

### DAY FOUR

#### 講義・ケースプレゼンテーション

講師／Henry H. Takei, Flavia Q. Pirih,  
Beatriz Bezerra, Yusuke Hamada

※本コースは2023年度開催予定ではございますが、今後の新型コロナウイルス感染症の動向次第では開催を中止させていただきますこととさせていただきます。

## 概 論

研究や新しい臨床の概念、技術の進化はあらゆる専門分野に劇的な変化をもたらすが、歯科領域も例外ではない。

新しい知識は歯科の臨床に影響を与え、臨床のあり方を形作るもので、変化は望ましいものである。

1980年代後半に導入されたインプラント治療は歯科の臨床に大きなパラダイムシフトをもたらした。

インプラントを組み込むことで歯科の治療計画が劇的に変化した。

インプラント治療は厳密には欠損部を補完する一つの手技に過ぎないが、その影響は歯科医学のあらゆる分野に及んだ。

しかし歯科医学の根本的な目的は揺るぎないものであり、変わるべきものではない。

すなわち歯科学の究極の使命はあくまでも歯科疾患の予防である。

これを判断基準として新しい知見を受け入れ、治療計画を構築すべきである。

しかし、インプラント粘膜周囲炎ならびにインプラント周囲炎が認識されるにつれてインプラント治療についての誤信も表面化した。

これは新発見において常に起こりうることである。

その結果、インプラントについての再評価と治療計画全体におけるインプラントの優先順位の見直しが迫られた。

さらに歯の温存と早急な抜歯につづくインプラントによる置換についての再考が必要となった。

インプラントの予知性が再び疑問視され、確実性に欠けることが分り、解決の鍵はやはり歯科医師自身であり、すなわち歯科医師には研鑽をつむ責任があり、すでに2016年Journal of Dental ResearchでGiannobileとLangが以下のように指摘している。

「中等度の歯科疾患、すなわち齲蝕や歯内疾患、歯周病変に対して抜歯を勧める歯科医師は決して少なくない。」

従って“インプラント時代におけるピュア・ペリオ”は、歯科医師にとって歯科疾患の予防と治療の概念の再考を促すきっかけとなるべきである。

臨床に立脚したこのコースは歯科医療の本来の目的、すなわち確固たる歯周病学の知識と診断に基づいた天然歯保存の再評価を促す機会である。

最新の研究知見と臨床的な革新を現在から未来にわたって組み込むことは、“最高の総合臨床歯科医師”となる自信を獲得することになる。

## 概 要

独創的な4日間の生涯研修コースでは講義、自由討論、臨床に直結する実習を通じて講師と受講者の間で意見交換を行う。

コースはビデオを使用した講義と受講者と講師との間の有意義な討論で構成されている。

両者間の活発な意見交換の場を提供する。

実習では講義の内容に沿って臨床に関連する実技を習得する。

歯周疾患とインプラント周囲疾患の複雑な特性を単純化し、明瞭にするための概念ならびに考え方に基づいて独自の講義を行う。

さらに歯周治療とインプラント治療の共生的な関係と両者の違いの重要性について解説する。

歯周疾患とインプラント関連疾患の誘因、修飾因子、ならびに恒久化因子についても言及する。

これらの疾患を管理、治療し、望ましい成果をもたらすための教育療法、器械的療法、ならびに維持療法の重要な概念を紹介する。

臨床診査と診断は患者ならびに担当医に対する教育（教育療法）と合わせて説明する。

治療の手段（器械的療法）は講義と実習で解説する。

抜去歯、豚顎骨ならびに臨床のビデオを使用し、実習で使用する器具は各自に提供される。

疾患をコントロールするための予防処置（メンテナンス療法）は治療の全体的な成功に極めて重要で、本コースで強調される部分である。

# インプラント時代における“ピュア・ペリオ” UCLA 4日間集中実習コース

Pure Periodontics in The Era of Predictable Implant Therapy

## DAY ONE 講義・ワークショップ

2023年10月6日(金)

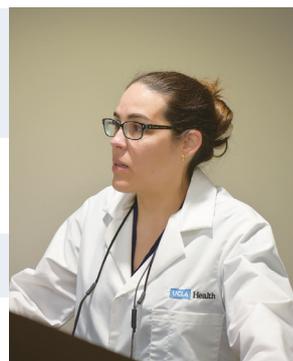
- 9:00 イントロダクション
- 9:15 講義、ビデオ、質疑応答  
なぜこのコースのタイトルが "Pure Periodontics" と呼ばれているのか？
- 10:45 講義と質疑応答：歯周病治療の視点から考えるインプラント
- 11:45 講義と質疑応答：2017年の歯周病新分類の内容の理解を深める
- 13:15 昼食
- 14:00 ワークショップ  
歯周病新分類をどのように使うのか
- 15:00 講義と質疑応答  
歯周病進行のリスクについて
- 16:30 講義、ビデオ、質疑応答  
歯科医師及び患者への教育的治療
- 18:30 質疑応答と本日のまとめ
- 19:00 1日目終了



## DAY TWO 講義・ハンズオン

2023年10月7日(土)

- 7:30 ハンズオンセッション：模型を使用した歯石の感知と機械的治療
- 9:30 講義と質疑応答：非外科処置の再評価とその後の治療計画
- 11:30 講義と質疑応答  
ポケット除去のための歯周外科処置：根先側移動術と骨切除と骨整形術
- 13:00 昼食
- 13:45 講義と質疑応答  
再生歯周外科の原則と応用：材料や術式の選択を行う基準について
- 16:00 ハンズオンセッション：豚顎を使用した歯周病に対する歯周外科実習
- 18:30 質疑応答と本日のまとめ
- 19:00 2日目終了



■定員：30名

■日時：4日間

2023年10月6日(金)

9:00~19:00

2023年10月7日(土)

7:30~19:00

2023年10月8日(日)

7:30~19:00

2023年10月9日(月・祝)

7:30~17:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学浦安キャンパス

■受講料：500,000円

1・2

PURE PERIODONTICS  
IN THE ERA OF PREDICTABLE  
IMPLANT THERAPY

04

DAYS COURSE

## DAY THREE 講義・ハンズオン

2023年10月8日(日)

- 7:30 講義と質疑応答：生物学と機械的な面を考慮した臨床における  
歯冠延長術
- 10:00 講義と質疑応答：歯肉歯槽粘膜欠損の診断と病因について理解  
を深める
- 11:30 講義と質疑応答  
歯肉歯槽粘膜形成術：結合組織移植術、遊離歯肉移植術の術式  
の選択基準と根面被覆の考え方 (1)
- 13:00 昼食
- 13:45 講義と質疑応答  
歯肉歯槽粘膜形成術：結合組織移植術、遊離歯肉移植術の術式  
の選択基準と根面被覆の考え方 (2)
- 15:30 ハンズオンセッション：豚顎を使用した歯肉歯槽粘膜形成術実習
- 18:30 質疑応答と本日のまとめ
- 19:00 3日目終了



## DAY FOUR 講義・ケースプレゼンテーション

2023年10月9日(月・祝)

- 7:30 講義と質疑応答：臨床における審美領域の評価の仕方とガミー  
スマイルの対応
- 10:00 講義と質疑応答：インプラントの時代において、いつ天然歯を  
残すべきなのか？ (1)
- 11:30 講義と質疑応答：インプラントの時代において、いつ天然歯を  
残すべきなのか？ (2)
- 13:00 昼食
- 14:00 ケースプレゼンテーションと質疑応答  
治療計画における論理的思考
- 16:30 質疑応答と本日のまとめ
- 17:00 4日目終了



3・4

PURE PERIODONTICS  
IN THE ERA OF PREDICTABLE  
IMPLANT THERAPY

04

DAYS COURSE